



八雲町立八雲中学校

令和7年度
5月号

★教育目標

郷土を愛し、未来を築く人間の育成

・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知) ・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「互いに認め合い、学び合う生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail: yakumo-ih@town.yakumo.hokkaido.jp

「体育大会物語」～持続可能な体育大会へ！！～

八雲町立八雲中学校長 増田 正弘



第79回校内体育大会が行われました。当日は天候に恵まれ、生徒たちは練習の成果を存分に発揮し、グラウンドいっぱいに躍動する姿を見せてくれました。白熱した戦いが繰り広げられ、応援席からも大きな声援が送られました。その中でも「さすが3年生！」と感嘆する場面が随所に見られました。そのリーダーシップと団結力は、大会全体を大いに

盛り上げてくれました。

春からずっと、「特に3年生は」「特に3年生が」と大きな期待を寄せて話をしてきました。この3年間、学級委員長を中心に、各学級が勝利と充実感を味わうため、経験を重ねて知識を学びながら取り組んできました。その成果が、この体育大会で十分に発揮されたのだと強く感じています。

体育大会は、日頃の体育で培った「技能」の発表の場であり、同時に「学びの場」でもあります。バトンの受け渡しや長縄跳びのタイミングなど、一人で考えても解決しないことは多々あります。正解がなく、一人一人の工夫や改善が求められる場面です。まさに、こうした状況でこそ「互いに認め合い、学び合う」ことが重要になります。仲間と協力し、試行錯誤する中で、より良い方法を見つけ出し、互いを高め合います。リレーのバトンパス、学級の長縄、学年種目などが、チームワークを高め、より良い学習集団を築く機会となるのです。スポーツには、時に「気合と根性」も必要ですが、それ以上に、仲間と共に困難を乗り越え、成長する過程こそが、体育大会の大きな価値だと考えます。

第79回を迎えた本校の体育大会は、その長い歴史の中で、運営を支えてきた体育教師の存在が非常に大きいものでした。もちろん、担任や副担任の先生方全員が教科にとらわれず、日頃の練習では技術指導に加え、「みんなと一緒に頑張ろう！」「最後まであきらめない！」「気焰万丈！」といった熱い言葉で生徒たちを励まし続けてくれました。



第79回校内体育大会は、生徒たちの活躍を願い、本校会場にお越しいただいた保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援があつてこそ実現できました。心より感謝申し上げます。今年度も誠にありがとうございました。